

たばこの健康影響に関する見解（令和8年7月時点）



- 紙巻たばこでは、能動喫煙、受動喫煙ともに健康影響が明らかになっています。
- 加熱式たばこでは、能動喫煙、受動喫煙ともに、長期的な健康影響は現時点で明らかになっていませんが、発がん物質を含む有害物質は主流煙、副流煙から検出されており、能動喫煙、受動喫煙ともに健康影響がある可能性が否定できません。なお、現時点で加熱式たばこが紙巻たばこより健康への影響が低いというエビデンスは確認されていません。

紙巻たばこ		加熱式たばこ	
能動喫煙		能動喫煙	受動喫煙
WHOにおいて既公表の見解	成分	紙巻たばこには含まれない発がん物質と、遺伝子に悪影響を与える可能性がある物質が含まれている ⁴⁾ 。 有害物質を計測する標準的な測定方法がまだ確立されていないため、比較を行うことは難しい ⁴⁾ 。	室内の潜在的発がん物質等の濃度は、WHO が推奨する限界値を超える濃度になるとの報告がある ³⁾ 。
	健康影響	加熱式たばこについては、独立した研究が不足しているため、長期的な健康影響は不明である ⁵⁾ 。 心臓や血管への影響は、紙巻たばこと同じくらいの危険性がある可能性がある ⁵⁾ 。 加熱式たばこには、紙巻たばこと同程度のニコチンが含まれている。ニコチンは非常に依存性が高く、特に子どもや青少年の健康に悪影響を及ぼすことが知られている ⁵⁾ 。	加熱式たばこの煙にさらされると、喘息や喘息のような症状、のどの痛み、頭痛、胸の痛みなどが起きる可能性があるとする報告がある ³⁾ 。
厚生労働科学研究等での知見	成分	発がん物質が含まれており、そのうちの一部は、肺がんのリスクが懸念される量である ⁷⁾ 。 ニコチン等の一部の有害物質は、健康影響が生じる量を超えている可能性がある。特に、ニコチンの量は、心機能への影響が強く懸念される ⁷⁾ 。 主流煙の成分比較では、紙巻たばこと比較すると、発がん物質と非発がん物質ともに、製品によっては、加熱式たばこの方が量が多い場合がある。なお、一酸化炭素などの燃焼由来成分の場合は、加熱式たばこの方が概ね低い ¹⁾ 。	副流煙から、発がん物質を含む有害物質が検出されているとする報告がある ⁷⁾ 。 有害物質が空気中に発生することが強く懸念されるとする報告がある ⁷⁾ 。
	健康影響	高血圧などの循環器疾患、ニコチン依存への影響が強く懸念される ⁷⁾ 。	煙にさらされた人の生体試料からニコチンや発がん物質の代謝産物が検出されることが報告されており、受動喫煙による有害物質への曝露が懸念されるとする報告がある ⁷⁾ 。

青:すでに悪影響が明らかとなっている

黄:紙巻たばこと比較した知見

⚠ マーク:悪影響につながる知見が一つでもある

1.E ffects of tobacco on health (WHO,2025)
2.Tobacco (WHO,2025)
3.Tobacco Control Playbook: comprehensive smoke-free legislation: an essential component of tobacco control strategy (WHO European region,2025)
4.FCTC/COP10/10 Comprehensive report on research and evidence on novel and emerging tobacco products, in particular heated tobacco products, in response to paragraphs 2(a) (d) of decision FCTC/COP8(22)(WHO,2023)
5.Heated tobacco products: information sheet - 2nd edition(WHO,2020)
6.喫煙と健康 喫煙の健康影響に関する検討会報告書（通称：たばこ白書）。2016
7.厚生労働行政推進調査事業費補助金（厚生労働科学研究事業）研究代表者：牛山明。2025